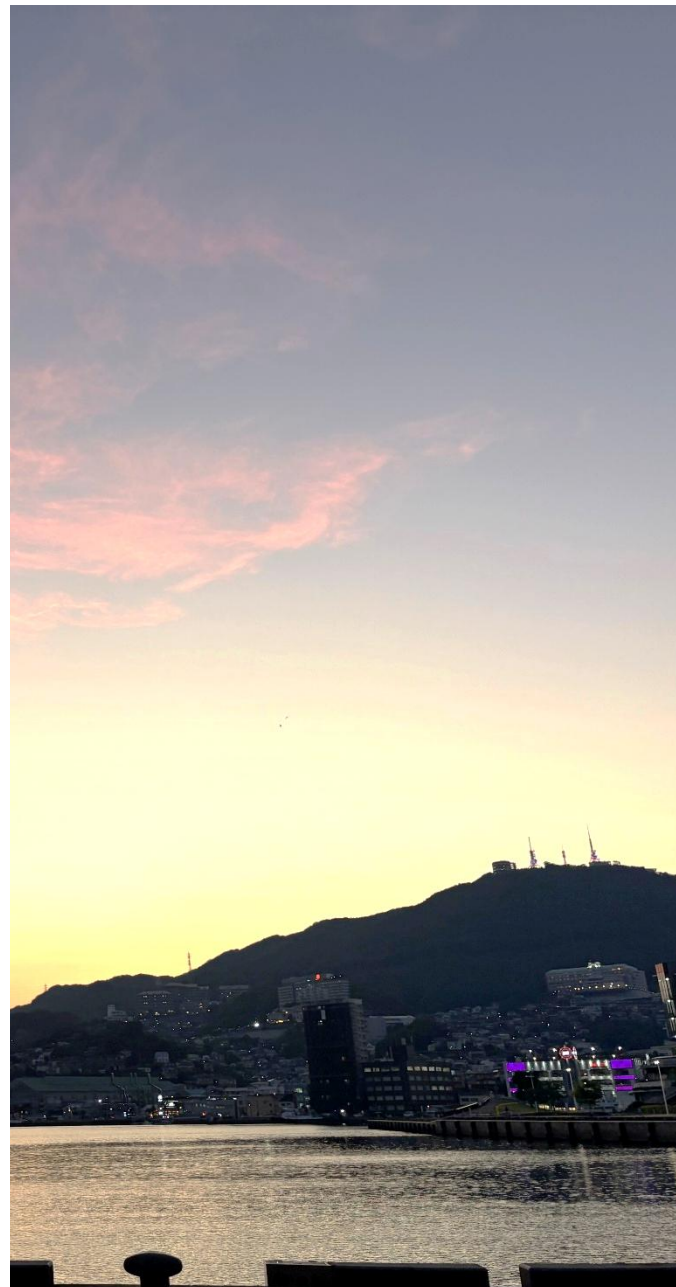


DMO NAGASAKI REPORT



2026 年 10 月



一般社団法人

長崎国際観光コンベンション協会

Nagasaki International Tourism and Convention Association

目次

◆企画管理本部

- ・ 各施設での展示について<管理課>
- ・ 合同出発式を開催<地域連携課>
- ・ 長崎駅長さるくを開催<地域連携課>

◆事業本部

- ・ 第 67 期王位戦七番勝負第 4 局<事業推進課>
- ・ ながさき平和・歴史ガイド 全体会議を開催<営業課>
- ・ 韓国の釜山、ソウルで観光商談会に参加 <営業課>

各施設での展示について<管理課>

「長崎のもぎき恐竜パーク」開園5周年をPR

8月29日（土）から、長崎市総合観光案内所の一角を「長崎のもぎき恐竜パーク」仕様に装飾しています。

これは10月29日（木）に開園5周年を迎える「長崎のもぎき恐竜パーク」の魅力を、長崎駅を利用する観光客をはじめ、多くの方に知っていただき、野母崎地域への誘客につなげるため、長崎市恐竜博物館との連携で実施したものです。

入口の左側には、今から約8,000万年前の長崎市を復元した壁画を背景に、ティラノサウルス・レックスの頭骨化石レプリカを展示し、右側の壁面棚には恐竜パークへのアクセスや見どころを紹介したパネルやフィギュア等を設置しており、案内所を訪れたお客様が写真撮影をするなど、ご好評いただいております。令和9年3月31日（水）まで展示されますので、長崎駅をご利用の際はぜひお立ち寄りください。



亀山社中記念館「薩長同盟160周年記念企画展」

10月1日（木）から3月31日（水）まで、亀山社中記念館で「薩長同盟160周年記念企画展～薩長同盟から動き出した日本～」を開催しています。

慶応2年（1866）1月21日に結ばれた薩長同盟から、令和8年は160周年となることから、坂本龍馬の書簡や構想資料を通して、同盟の成立から新しい国家



の姿が形作られていく過程をたどる展示となっています。複製資料4点を展示するほか、企画展の来館記念として、先着1500名様に缶バッジを配布しますので、この機会にぜひ亀山社中記念館へお越しください。

合同出発式を開催<地域連携課>

西九州新幹線開業 4 周年×長崎さるく 20 周年を祝う

9 月 23 日（水）、長崎駅にて「西九州新幹線開業 4 周年」と「長崎さるく 20 周年記念事業」の合同出発式が開催されました。当日は、長崎駅の堀駅長の挨拶をはじめ、鈴木長崎市長や一日駅長、長崎ヴェルカ クラブアンバサダー狩俣氏から「4」にまつわるエピソードが紹介され、会場は和やかな雰囲気になりました。

今回の合同出発式には、長崎さるくを日頃から支えていただいているガイドの皆さま約 40 名も参加しました。午前 9 時 8 分発の西九州新幹線「かもめ」の出発にあわせ、参加者全員で元気いっぱい手を振り、にぎやかに列車を見送りました。

西九州新幹線は開業 4 周年、そして長崎さるくは 20 周年。それぞれの節目を一緒にお祝いする機会となりました。当日の様子は、テレビや長崎新聞をはじめ、多くのメディアでも取り上げられました。

これから本格的な観光シーズンを迎える長崎の秋に向けて、長崎さるく 20 周年記念事業のさらなる盛り上がりにつながる出発式となりました。10 月以降も、20 周年を記念したさまざまなまち歩きが予定されています。ガイドの皆さまや関係者の皆さまとともに、長崎のまち歩きの魅力を発信してまいります。



合同出発式の様子



囲み取材の様子

長崎駅長さるくを開催<地域連携課>

駅長ならではの視点でまちを歩く

9月23日（水・祝）、西九州新幹線開業4周年と長崎さるく20周年を記念した、この日限りの特別企画「長崎駅長さるく」を開催しました。堀長崎駅長の案内のもと、浦上駅から長崎駅、元船遊歩道、長崎港駅跡地までを巡りながら、長崎の鉄道の歴史や駅周辺のまちの変遷について学びました。普段はなかなか知ることのできない鉄道の歴史や、駅長ならではの視点から聞くエピソードを通して、長崎のまちと鉄道との深いつながりに触れるまち歩きとなりました。

スタート地点の浦上駅では、駅舎や空間のデザインにも長崎市にちなんださまざまな工夫が施されていることを教えていただき、日頃利用しているだけでは気づかない駅の魅力を発見しました。長崎駅では、ホームの奥から女神大橋を望む開放的な景色を楽しみ、その後は駅から港方面へ。かつて鉄道が走っていた跡をたどると、何気なく歩いている道にも、長崎の歴史やまちの記憶が残されていることに気づかされます。新しく生まれ変わった長崎駅と、その周辺に大切にされている鉄道の記憶。まちが変化していく中でも、長崎がこれまでの歴史を大切に受け継いでいることを感じることができました。いつもの道も、視点を変えて歩けば、まちの新たな魅力が見えてきます。歴史や文化、まちに残る物語を、そこに関わる「人」の案内を通して知ることができるのが、長崎さるくの魅力です。これからもさまざまな視点から、長崎市の奥深い魅力を多くの皆さまに伝えていきます。



堀駅長による説明の様子



長崎駅構内や西九州新幹線について説明を受ける様子

第 67 期王位戦七番勝負第 4 局<事業推進課>

藤井聡太棋士が来崎。将棋界最高峰のタイトル戦を開催。

8月18日・19日、将棋タイトル戦「伊藤園お〜いお茶杯第67期王位戦」七番勝負第4局が、ガーデンテラス長崎ホテル&リゾートにて開催されました。藤井聡太王位と伊藤匠二冠という同学年の二大棋士による頂上決戦は、全国の将棋ファンのみならず、多くのメディアが注目する一大イベントとなりました。

当協会は誘致推進実行委員会の事務局として、誘致から当日運営まで一貫して携わりましたが、特に注力したのが「勝負めし・勝負スイーツ・勝負ドリンク」の企画です。59の事業者さまから応募があり、公募・審査を経て31の事業者さまを選定するプロセスは多くのメディアでも紹介されることとなり、長崎の食の魅力を全国へ発信することができました。選定されたメニューは令和9年3月末まで各事業者さまで継続販売されており、対局を契機とした持続的な集客につながっています。

また、前夜祭・大盤解説会・指導対局などの関連イベントにも携わり、県内外から多くの方に長崎を訪れていただくことができました。開催前後の経済波及効果は4,500万円以上、情報発信による広告換算額は3,600万円以上と見込まれ、長崎ブランドの発信という点でも大きな成果を得ることができました。

この対局を通じて生まれた多くの事業者さまとの絆と経験を、今後の観光振興・地域活性化に活かしてまいります。



ながさき平和・歴史ガイド 全体会議を開催<営業課>

ガイド 71 名が参加し、繁忙期に向けて情報共有と研修を実施

8 月 26 日（水）、長崎歴史文化博物館にて、令和 8 年度第 1 回「ながさき平和・歴史ガイド」全体会議を開催しました。当日は 71 名のガイドの皆さまが参加し、これまでの実績や予約状況、今後の取組について情報共有を行いました。

会議では、長崎市平和推進課のご担当者にもご出席いただき、9 月から 3 月にかけて予定されている長崎市原爆資料館の展示更新についてご案内いただきました。あわせて、令和 7 年度の実績や秋季の予約状況、新たに加わったガイドの紹介、ガイドワーキングチームの発足など、今後の活動に関わる事項について説明しました。全体会議終了後には、平和推進協会による被爆体験講話を実施しました。実際の被爆体験を聞くことで、被爆の実相への理解を深めるとともに、ガイド活動における説明内容の充実と質の向上につながる研修となりました。修学旅行で長崎を訪れる児童・生徒の皆さまに、平和や歴史についてより深く知っていただくためには、ガイドをはじめ、関係機関や地域の皆さまとの連携が欠かせません。これから繁忙期を迎える中、関係者の皆さまと連携しながら、長崎の平和・歴史の価値や魅力を伝える取組を進めてまいります。



全体会議の様子



講話の様子

韓国の釜山、ソウルで観光商談会に参加 <営業課>

長崎への高い関心を実感、さらなる誘客・周遊促進へ

9月7日（月）から10日（木）の4日間、長崎県観光連盟が主催する韓国での商談会に参加しました（釜山・ソウル）。県内からは観光関連団体・事業者30社・団体以上が参加。韓国側からも釜山では26、ソウルでは31の事業者・団体が参加し、長崎への高い関心が感じられる、熱気あふれる商談となりました。



釜山商談会の様子



ソウル商談会の様子

今回の商談会を通じて、長崎に対する認知度・関心ともに高いことを実感しました。一方、ソウルから長崎への直行便はあるものの、日本・九州の玄関口として福岡を意識する傾向も強く、福岡からいかに長崎への周遊につなげていくかが重要であると感じました。恵まれた観光資源を持つ長崎だからこそ、その魅力を生かした誘客の工夫が必要です。

10月には、米国・ラスベガスで開催される国際商談会「IMEX America」への参加を予定しています。参加者数が1万人を超える大規模な商談会であり、多くのバイヤーとの商談機会を創出し、「NAGASAKI」の売り込み・アピールを図ってまいります。